

(仮 訳)

プレス・リリース

2012 年 6 月 28 日
バーゼル銀行監督委員会

バーゼル銀行監督委員会による「銀行の内部監査機能」の公表

バーゼル銀行監督委員会(以下「バーゼル委」)は、本日、最終文書「銀行の内部監査機能」を公表した。

本監督上のガイダンスは、銀行の強力な内部監査機能を促進するため、20 の原則から構成されている。金融危機から得た教訓を踏まえ、また、銀行監督実務及び銀行組織の動向を考慮に入れつつ、本原則は 2001 年に公表されたバーゼル委ガイダンスを改訂・更新している。この目的のため、本ガイダンスは、内部監査機能に対する監督上の期待と評価について述べている。更に、本ガイダンスは銀行の内部監査人が、国内及び国際的な内部監査の専門職的基準を遵守することを奨励している。最後に、本ガイダンスは内部監査人が健全性に係る事項について熟慮することを促している。本ガイダンスの付属文書は、銀行の監査委員会の責任について詳述している。

バーゼル委議長を務める、スウェーデン中央銀行のステファン・イングベス総裁は、「経営陣から独立し、十分な能力を備えた監査人から構成される内部監査機能は、銀行の健全なガバナンス構造の重要な構成要素である。本バーゼル委文書は、この分野における専門職の実務の強化を助長する、銀行及びその監督者への期待について言及している。」と述べた。

本ガイダンスは、2011 年 12 月に公表された市中協議文書の最終版である。バーゼル委はフィードバック及び意見を提出した方々に対し感謝の意を表したい。